

## 西東京市社会福祉士会 第26回 定例研究会

### 「人の暮らしと依存症」～アプローチのための基礎を学ぶ～

講師：国立精神・神経医療研究センター病院 精神科医師 船田大輔氏

薬物依存というと、多くの人は覚せい剤や大麻といった違法薬物を連想しがちですが、咳止め、鎮痛剤などの身近な医薬品や、カフェインやエナジードリンクなど手軽に購入できるものを原因とする薬物依存が近年増加傾向にあります。さらにコロナ禍における不安感、ストレス、孤立などによって不健康な行動パターンに陥りやすいことから、世界保健機構（WHO）から依存症に関する注意喚起等が公表されています。深刻化する社会背景や地域社会の疲弊が続く中、支援者の果たす役割は決して小さくはありません。

「今は依存症支援には携わっていない・・・」という方にとっても、依存症に関する正しい理解と適切な支援方法を身につけることは、更なる支援の手がかりとなることでしょう。奮ってご参加ください。

【日時】 令和 3年12月 7日（火） 18：30～20：30（受付 18：15～）

【会場】 リモート（Zoom）での開催と致します。

【受講者】 一般公開（テーマに興味がある方はどなたでも参加できます）

ZOOMでの参加：40名（申込後にIDとパスコードをお送りします）

【参加費】 無料

【申込・連絡先】 参加を希望される方は、下記連絡先に事前申込み願います。（定員に達し次第締め切り）

【申込／照会先】：西東京市社会福祉士会 事務局 原 治 Mail: o-hara@jcom.home.ne.jp

※(1) 講演会を録音しないなど、これまでの講演会や研究会と同様に基本的なマナーは厳守願います。

※(2) ID、パスワードをパソコンアドレスから送付いたしますので、パソコンからメールを受け取れる設定にしてください。なお、ID とパスワードで誰でも入場できるため、参加希望者は所属・参加者名などを明確にして、個別に申し込んでください。

